

第6回むぎのえいが部「七人の侍」

監督：黒澤明

- 1.姿三四郎 (1943年・東宝、1時間19分)
- 2.一番美しく (1944年・東宝、1時間25分)
- 3.続姿三四郎 (1945年・東宝、1時間23分)
- 4.虎の尾を踏む男たち (1945年・東宝、58分)
- 5.明日を創る人々 (1946年・東宝、1時間21分)
- 6.わが青春に悔いなし (1946年・東宝、1時間50分)
- 7.素晴らしき日曜日 (1947年・東宝、1時間48分)
- 8.酔いどれ天使 (1948年・東宝、1時間38分)
- 9.静かなる決闘 (1949年・大映、1時間35分)
- 10.野良犬 (1949年・東宝、2時間2分)
- 11.醜聞 (スキャンダル) (1950年・松竹、1時間44分)
- 12.羅生門 (1950年・大映、1時間28分)
- 13.白痴 (第一部・愛と苦悩、第2部・恋と憎悪) (1951年・松竹、2時間46分)
- 14.生きる (1952年・東宝、2時間23分)
- 15.七人の侍 (1954年・東宝、3時間27分)
- 16.生きものの記録 (1955年・東宝、1時間53分)
- 17.蜘蛛巣城 (1957年・東宝、1時間50分)
- 18.どん底 (1957年・東宝、2時間17分)
- 19.隠し砦の三悪人 (1958年・東宝、2時間19分) ベルリン銀熊賞
- 20.悪い奴ほどよく眠る (1960年・東宝、2時間31分)
- 21.用心棒 (1961年・東宝、1時間50分) ヴェネツィア主演男優賞
- 22.椿三十郎 (1962年・東宝、1時間36分)
- 23.天国と地獄 (1963年・東宝、2時間23分)
- 24.赤ひげ (1965年・東宝、3時間5分)
ヴェネツィア映画祭サン・ジョルジュ賞、ヴェネツィア市賞、
国際カトリック映画祭事務局賞、モスクワ映画祭映画労働組合賞
- 25.どですかでん (1970年・東宝、2時間6分)
モスクワ映画祭ソ連映画人同盟特別賞、アデレード国際映画賞・監督賞、
ベオグラード国際映画賞
- 26.デルス・ウザーラ (1975年・日本ヘラルド、2時間21分)
モスクワ映画祭金賞、アカデミー外国語映画賞、ヴェネツィア映画祭サンジョルジュ賞
- 27.影武者 (1980年・東宝、2時間59分)
カンヌ映画祭グランプリ、英国アカデミー賞監督賞・衣装デザイン賞、
セザール賞外国語映画賞、ベオグラード映画芸術賞・作品賞・美術賞
- 28.乱 (1985年・東宝＝日本ヘラルド、2時間38分)
アカデミー賞衣装デザイン賞、ニューヨーク批評家賞作品賞、
全米批評家賞作品賞・撮影賞、英国アカデミー賞外国語賞
- 29.夢 (1990年・ワーナー、1時間59分)
- 30.八月の狂詩曲 (1991年・松竹、1時間38分)
- 31.まあだだよ (1993年・東宝、2時間14分)

脚本:黒澤明

橋本忍

張込み (1958年1月15日公開、野村芳太郎監督、松竹)
翹雲 (1958年9月2日公開、成瀬巳喜男監督、東宝)
ゼロの焦点 (1961年3月19日公開、野村芳太郎監督、松竹)
切腹 (1962年9月16日公開、小林正樹監督、松竹)
暴行 - The Outrage (1964年12月26日日本公開、
マーティン・リット監督、メトロ・ゴールドウィン・メイヤー) - オリジナル脚本
日本のいちばん長い日 (1967年8月3日公開、岡本喜八監督、東宝)
太平洋の地獄 - Hell in the Pacific (1968年12月21日公開、
ジョン・ブアマン監督、松竹) ※ノンクレジット
人斬り (1969年8月9日公開、五社英雄監督、大映)
日本沈没 (1973年12月29日公開、森谷司郎監督、東宝)
イエロー・ドッグ - Yellow Dog (1977年2月26日公開、テレンス・ドノヴァン監督、松竹)
八甲田山 (1977年6月4日公開、森谷司郎監督、東宝) ※製作も
八つ墓村 (1977年10月29日公開、野村芳太郎監督、松竹)
旅路 村でいちばんの首吊りの木 (1986年11月1日公開、神山征二郎監督、東宝) ※製作も
私は貝になりたい (2008年11月22日公開、福澤克雄監督、東宝)

出演:三船敏郎

千利休 本覺坊 (1989)
竹取物語 (1987)
男はつらいよ 知床慕情 (1987)
二百三高地 (1980)
将軍 SHOGUN (1980) <TV>
1941 (1979)
人間の証明 (1977)
太陽にかける橋/ペーパー・タイガー (1975)
レッド・サン (1971)
連合艦隊司令長官 山本五十六? (1968)
日本のいちばん長い日 (1967)
グラン・プリ (1966)
大菩薩峠 (1966)
西鶴一代女 (1952)
銀嶺の果て (1947)

志村喬

生きる (1952年、東宝) - 渡邊勸治
ゴジラシリーズ (東宝)
点と線 (1958年、松竹) - 笠井警部
社長シリーズ (東宝)
フランケンシュタイン対地底怪獣 (1965年、東宝) - 広島衛戍病院の老軍医
黒部の太陽 (1968年、三船プロ・石原プロ) - 芦原義重
座頭市シリーズ

キャスト

七人の侍

島田勘兵衛（しまだかんべえ）：志村喬
菊千代（きくちよ）：三船敏郎
岡本勝四郎（おかもとかつしろう）：木村功
片山五郎兵衛（かたやまごろべえ）：稲葉義男
七郎次（しちろうじ）：加東大介
林田平八（はやしだへいはち）：千秋実
久蔵（きゅうぞう）：宮口精二

村の百姓[編集]

儀作（ぎさく）：高堂国典
利吉（りきち）：土屋嘉男
茂助（もすけ）：小杉義男
万造（まんぞう）：藤原釜足

<絵コンテ>

